

安芸 早穂子【あき さほ・歴史復元画家】5

しとめたえものを足元に雪原にたたずむ縄文の狩人。犬と一緒にかけまわる少年たち。舟を出したり、木の実を取ったりにぎやかな縄文のムラ。赤ちゃんを背負うお母さんは掘り棒を手にしている…。縄文の風景をあざやかによみがえらせるアーティストの安芸早穂子さん。ひたちなか市の遺跡をみてみたら、どんな風景がみえてくるかな。アート アンド アークオロジの世界に船出しよう！

鈴木 康二【すずき こうじ・南山大学人類学博物館・特定非営利活動法人ちやいれじ】11

土器や石器、土偶や金属製品、展示してある資料をすべてさわることができる、南山大学人類学博物館で学芸員をしている鈴木康二さん。さわってみたらどんな気持ち？「みる」だけじゃなくて、「さわること」ができたら小さい子どもも赤ちゃんも参加できて楽しいし、新しい発見もあるかも!? そんな、遺跡や博物館をもっと楽しむためのワークショップを、鈴木さんは展開しています。

小幡 和男【おばた かずお・ミュージアムパーク茨城県自然博物館名誉学芸員】7

虎塚古墳や十五郎穴のまわりの森は長い間遺跡を守り続けてきた森だ。どうやらいろいろな植物が残っているみたい。ツククサやムサシアブミ、ヒガンバナ。四季折々、いろいろな植物が遺跡をいろどるよ。ミュージアムパーク茨城県自然博物館でずっと植物を研究してきた小幡和男さんと虎塚古墳・十五郎穴のまわりの森をさぐってこよう。

阿久津 久【あくつ ひさし・元茨城県立歴史館】6

阿久津久さんが大学生のとき、勝田三中の生徒が年賀状で「馬の埴輪」をみつけたことを教えてくれて、馬渡埴輪製作遺跡の発掘をすることになったんだって。それから8年後、「茨城県歴史館」の開館準備でもどってきたら虎塚古墳の発掘が待っていた。当時どんなことがあったのかな。どんな気持ちになったのかな。阿久津さんの体験をお話してもらおうと思っています。

玉川 里子【たまがわ さとこ・元水戸市立博物館】4

砲弾の破片や、軍隊の陣地の跡、遺跡から戦争の遺物や痕跡が見つっている。ひたち海浜公園には戦争遺跡が残る。考古学は平和じゃないとできない。だから水戸空襲の記憶やひたちなか市の艦砲射撃、水戸対地射撃爆撃上の歴史を忘れないために、玉川里子さんと戦争の出来事と平和のことをいっしょに考えよう。

助川 諒【すけがわり りょう・千葉県袖ヶ浦市教育委員会】3 10

「十五郎穴横穴群」。2024年、ひたちなか市に3つ目の国指定史跡が誕生した。十五郎穴がきっかけで横穴墓を研究してきた助川諒さんは今、千葉県袖ヶ浦市で発掘調査や国史跡山野貝塚の史跡整備の担当をしている。これから史跡整備の計画を立てる十五郎穴がどんな史跡になっていったら素敵だろうか。みんなのアイデアを教えてください。助川さんといっしょにふるさと考古学バージョンこども史跡整備計画をたててみたい！

矢野 徳也【やの とくや・筑波山地域ジオパーク学術部会副部会長】2 8 9

地質の専門家、矢野徳也さんは田んぼもず～と携わっていて、環境のこと、生き物にも詳しいんだ。今回は最初にひたちなか市の大地のなりたちをお話してもらおうと思ってる。太平洋やアンモナイトもみつかると白亜紀層。河川や地層、火山灰の話。秋は『壁画の考古学』、そして遺跡や生き物を観察しながら『フィールド探検』で歩いてみよう。

さかいひろこ【矢野 広子・イラストレーター】1 8 12

中学生のとき、はじめて発掘に参加した「十五郎穴」。これから史跡整備計画をたてる、ときいて今年のふるさと考古学でみんなといっしょにどんな遺跡になったらすてきか、遺跡の未来を考えるワークショップを開けたらいいな、と思い立ちました。どんなアイデアが出てくるか、楽しみ。今年も那珂湊支所・展示室にて「いせきと歩むこどもたち」展を開催する予定です。

■受講料 無料 ただし、講座により教材費が必要になることもあります。

■受講上の注意 児童・生徒は保護者の同意のもとに申し込んで下さい。
天候及び講師の病気等、やむをえない事情で講座日程等が変更になることがあります。
全ての講座を受講できる見込みの児童・生徒で、受講は申し込み者本人のみに限ります。

■申し込み方法 埋文センターのホームページ、または往復はがき（1人1通）に氏名・年齢・性別・保護者名・住所・電話番号・学校名・学年を記入し、下記までお申し込みください。*ご記入いただく個人情報は、「ふるさと考古学」事業に使用するものであり、その他の目的には使用いたしません。

■申し込みしめきり 令和8年7月7日(火)必着とします。

■受講者の決定 応募者数により、抽選で受講者を決定する場合があります。受講の可否については、7月15日(水)頃までに本人あてメールまたは返信はがきで通知します。

■申し込み・問い合わせ

公益財団法人ひたちなか市生活・文化・スポーツ公社
文化財調査事務所 TEL029-276-8311
〒312-0011 ひたちなか市中根3499（ひたちなか市埋蔵文化財調査センター内）
<https://hitachinaka-maibun.jp>（センターHP「お知らせ」内の入力フォーム→QRコード）

【はがき記入例】

返信(表)	返信(裏)	返信(表)	返信(裏)
<input type="checkbox"/> 返信 ひたちなか市中根3499 ひたちなか市埋蔵文化財 調査センター内 文化財調査事務所 行	*何も書かなくていいです ください	<input type="checkbox"/> 返信 申込者の ●郵便番号 ●住所 ●氏名	・氏名(フリガナ) ・年齢 ・性別 ・保護者名 ・郵便番号 ・住所 ・電話番号 ・学校名 ・学年



(申し込み)